

エゾコマルハナバチ

有明森林の笹地改良事業対象区域は笹の刈り払い終えて、植樹苗や天然更新稚樹の育成に入っています。その区域の中に2株のノリウツギを伐らずに残してありまして、綺麗な白い花が満開でした。ノリウツギの花には虫がよく集まりますので、昼食休憩時に虫たちを観察することにしました。アオハナムグリ、おんぶしたヨツスジハナカミキリ、小さいハナアブ、サカハチチョウらしき中型の蝶などが目につきますが、デジカメで接写できる距離ではありませんので、見るだけでした。その中でたまたま手の届く近さに来たのがエゾコマルハナバチでした。ゲットした画像の記録は2017年7月26日12時21分でした。

トリミングして拡大してみました。これだけでは同定は困難ですが、以前にエゾオオマルハナバチを見た経験からそれよりかなり小さい(10mm程度)が、装いはよく似ているのでエゾコマルハナバチに違いないと思ったのです。右後脚の太ももに花粉を貯め込んでいます。働きバチです。やたら忙しそうに蜜を吸いまくっていました。

ネットで捜した左下の良い画像をご覧ください。マルハナバチたちはミツバチのように女王バチ、働きバチ、雄バチが協働します。女王バチは働きバチをそのまま拡大した姿ですが、雄バチは別種みたいに違います(画像右下)。地中のネズミの古巣穴などに営巣。分布はよくわかりませんが、日本固有種とのこと。エゾと頭についていますので、北寄りに分布しているのでしょう。媒虫花たちにとってはミツバチ同様に有難い存在なのです。出現時期は4~9月とのこと。

